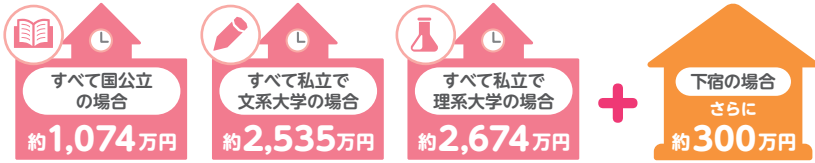


# お子さまの将来のために、学資金について考えてみませんか？

## 大学までの教育費（幼稚園～大学）



すべてを国公立にした場合でも学費だけで**1,000万円以上**必要なんですね。



文部科学省「平成30年度子供の学習費調査」、(株)セールス手帖社保険FPS研究所「ライフプランデータ集2022年版(大学生の教育費総額)」をもとにJA共済連試算



## 高い貯蓄性 **プラス** 万一の備え JAのこども共済「学資応援隊」



**ポイント1** 高い貯蓄性と保障がバランスよく備わっていて、効率的に資金準備できます。

〈ご契約例〉こども共済 学資金型(大学プラン)/0歳加入/22歳満期/  
18歳学資金支払開始・12歳共済掛金払込終了/タイプ:基本型/  
契約者:お父さま30歳/主契約:共済金額300万円/特約:指定代理請求特約

### 学資金づくりに

●共済掛金(年払い・口座振替扱い) **236,280円**  
払込共済掛金総額 **2,835,360円**  
↓  
給付総額 **3,000,000円**

**給付率**  
(給付総額÷払込共済掛金総額)  
**約105.8%**<sup>※1</sup>  
(2023年4月現在)

### お子さまが万一のときに

〈病気または災害で死亡のとき〉  
払込期間中 **経過年数に応じた額**(300万円×経過年数÷払込期間)  
払込終了後 **300万円**  
〈病気または災害で後遺障害のとき<sup>※2</sup>〉  
**300万円**

妊娠中(出生予定日の140日前)からご加入いただけます

**ポイント2** ご契約者(親族)がもしものとき<sup>※3</sup>、その後の共済掛金はいただきません。

\*共済掛金払込免除不担保特則を付加する場合があります。

**ポイント3** 学資金のお受取りは、進学時期に合わせた中学・高校・大学プランからお選びいただけます。

**ポイント4** お子さま・お孫さまのために75歳までご契約いただけます。

※1 給付率は、ご契約者・お子さまの契約日の年齢、学資金支払開始年齢など契約内容によって異なります。 ※2 「後遺障害のとき」とは、所定の第1級後遺障害の状態、または所定の重度要介護状態になられたときをいいます。 ※3 「もしものとき」とは、死亡、所定の第1級後遺障害の状態、所定の重度要介護状態、または災害による所定の第2級～第4級の後遺障害の状態になられたときをいいます。

# 学資金と合わせて、お子さまの病気やケガへのリスクについて考えてみませんか？

市区町村ごとの子どもの医療費助成でまかなえないのかしら？



**差額ベッド代**  
夜泣きなどを考えて個室にする場合は、差額ベッド代が全額自己負担になります。



**付き添い入院**  
親が付き添い入院する際には、食事代や布団代が発生する場合があります。さらに、付き添い入院により収入が減ってしまうこともあります。

子どもの医療費助成でまかなえないものって結構あるんですね。しっかり考えないと！



**食事代**  
市区町村によって、入院時の食事代が必要となります。



**対象年齢**  
一定年齢までお子さまの医療費の助成がありますが、「小学校卒業まで」、「中学校卒業まで」など、自治体ごとに対象年齢を設けています。



**一部負担金**  
市区町村によって、入院時の一部負担金が必要となります。



## 日帰り入院からまとまった一時金が受け取れる充実の医療保障



### ポイント1

日帰り入院からまとまった一時金が受け取れます。入院費用への備えはもちろん、その前後の通院・在宅医療などにも活用できます。

\*日帰り入院は、入院基本料の支払いの有無などにより判断されます。

### ポイント2

一生涯保障や先進医療保障など、ライフプランに合わせて自由に設定できます。

### ポイント3

健康を維持した場合に健康祝金が受け取れます。

\*健康祝金支払特則を付加した場合で、契約日以降3年ごと(共済期間が10年更新の場合は5年ごと)に治療共済金が支払われた入院をしなかった場合。

※共済金のお支払いには所定の条件があります。

- この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
- ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。
- JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

### げんきなカラダプロジェクト・あんしんくらしプロジェクト



みんなで一緒に健康をつくる「げんきなカラダプロジェクト」。いえ、くるま、農業といった大切なものを支える「あんしんくらしプロジェクト」。この2つのプロジェクトで、みなさまの豊かな生活づくりをサポートしていきます。専用ホームページでは、健康増進や防災・減災等のサービスのご紹介、各種イベントのご案内、お役立ち情報などを掲載しています。ぜひご覧ください!

<https://service.ja-kyosai.or.jp>



お問い合わせは